

導関係の打ち合わせを行う。その会で、報告・連絡・相談・記録を徹底して行うとともに関係機関との行動連携を図る。

- ④ 「みなみん学級」と各学級との交流学习を進め、一人一人の違いを認め合い尊重しあえる思いやりにあふれた心豊かな児童を育てる。

## (2) 基礎的・基本的な学力の定着を図り、自己学習力を育成する。

- ① 充実した指導をめざし、年間指導計画や週単位の学習指導計画の活用を通して PDCA 《PLAN (計画) DO (実行) CHECK (評価) ACTION (改善)》のサイクルを励行する。

週の指導計画には、単元名の他に、1 単位時間の目標、導入・展開・まとめの要点、評価、反省と改善、時数を記入する。

- ② 各教科で実物投影機等の ICT を活用したり、体験活動を取り入れたりして一人一人の児童に確かな学力を身に付けさせる。
- ③ 区立南田中図書館と連携し様々な支援を得ながら、最新資料や本を手元に置き学習ができるようにし、活字に親しむせ学校づくりを推進し、児童の学習意欲向上・課題解決能力の育成に努め、読む力や自分の考えを発表する力を育てる。

また、区立南田中図書館の展示コーナーに児童が作成した本の紹介等の作品を展示してもらったり、各教科で使用する資料を準備して頂いたりして、昨年度までの研究成果を継続して日々の授業に当たる。

さらに、読書旬間等を活用して、学校図書館支援員や読み聞かせボランティアと連携し、児童の読書量を増やし読書の質を高めていく。

校内研究では、国語科を通して研究を進め、昨年度までの成果をさらに発展させ、言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力等の育成に努める。

- ④ 算数においては少人数指導を基盤に、きめ細かい指導を展開する。
- ⑤ 地域や関係機関の方々と連携し、学区域巡りや地域安全マップ作成やシューズバンクプロジェクト等の活動を推進する。
- ⑥ 新体力テスト結果を基に一人一人の体力向上のための目当てをもたせ実践させる。年間指導計画に基づき健康朝会を毎月開催し、全校体制で食育の指導に当たる。
- ⑦ 補充・発展的な学習を計画的に実践し、長期休業中に補充学習教室を開催する。

## (3) 授業力の向上に努め、質の高い教師集団をめざす。

- ① 開級 3 年目のみなみん学級の研究発表に向けた取り組みに全教員が積極的に関わり、特別支援教育について理解を深めて日々の指導に生かしていく。
- ② 校内研究で国語科の研究を進め、国語科指導の基礎・基本をしっかりと学び合い、全教員の指導力向上を図り、日々の授業の質を高めていく。
- ③ ベテラン教師を講師とした若手教員の授業力向上を目指した研修会を月 1 回以上開催する。
- ④ 校内研究で、全教員が 1 年に 1 回以上研究授業に挑戦し、謙虚に学び合う。
- ⑤ 外国語活動の指導方法について、継続して研修を行い、児童にコミュニケーション能力の素地を身に付けさせる。【年間みなみん学級・1・2 年は 5 時間 (教科外)、3・4 年生は 5 時間 (国際理解教育)、5・6 年生は、3 5 時間 (外国語活動) として指導に当たる。】
- ⑥ 児童の学級・学年・学校への所属満足度を高めるために、全教職員で多面的・組織的にきめ細かな児童理解に努め、一人一人のよさを伸ばす。
- ⑦ 事務職員・栄養士・給食調理員・用務主事の総力を結集して質の高い教師集団を支える。必要に応じて学校行事の支援を行う。

・事務職員は、長期的展望を持ち、渉外、施設、経理、庶務を担当し計画的に遂行し、教育活動を支える。

・栄養士は、献立作成、諸報告、食育指導、その他給食関係を担当し教育活動を支える。

・給食調理員は、安全でおいしい給食を作り、児童の食育指導も必要に応じて担当し教育活動を支える。

・用務主事は、校地内、校舎内の環境整備の維持管理、施設設備の修繕・補修、ゴミの収集、来客の接待等を担当し、教育活動を支える。

## (4) 学校関係者評価を実施し、学校改善に生かすとともに保護者・地域に結果を公表する。

- ① 保護者・地域との双方向の交流を一層図り、家庭や地域とともに教育にあたるために、2 月までに学校関係者評価を実施する。2 月下旬に学校評価報告書を区教委へ提出するとともに、その結果を生かし 2 4 年度の学校経営計画を作成したり教育課程の編成をしたりする。また、その結果を保護者・地域に公表する。
- ② 「親父の会」の活動を充実させ、学校と父親との連携をさらに強固なものにする。